

ふれあい

No.196

ふれあいネットワーク



新年のごあいさつ

新十津川町社会福祉協議会 会長 佐川 純

新年あけましておめでとうございます。町民のみなさんには、ご健勝のうちに、希望に満ちた新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素より、社会福祉協議会の活動と運営に格別のご支援とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

昨年、道内においては、目立った自然災害もなく、平穏な1年となりましたが、勢力の強い台風が日本列島に何度も上陸し、甚大な被害をもたらしました。犠牲となられた方々に心からご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復旧復興をご祈念致します。

さて、最近、テレビを見ますと、南海トラフや首都直下型など、最大級の地震が今後数十年の間に相当高い確率で発生するといった報道がよくされておりますが、北海道にも多くの活断層が存在し、私たちが居住するこの地域も例外ではありません。また、近年では、地震の他、暴風雪や台風などに起因した災害も頻出してまいります。この様なことを受け、昨年、本会と新十津川町との間において災害ボランティアセンター設置運営に関する

協定を締結し、社会福祉協議会が復旧復興の主力となる災害ボランティアのコーディネーターとして位置づけされました。本会では災害ボランティアセンター運営マニュアルを策定し、想定訓練などを通じてマニュアルの検証等を行い、災害が発生した際に減災や早期復旧復興活動が有効的に行われていくよう整備を進めて参ります。

万が一の災害に際しては、自分の身を守ることに「自助」が一義的には大切ではありませんが、地域のみなさんが協力しながら助け合う「共助」も不可欠となります。そのためには、近年希薄化していると言われてる「人と人とのつながり」を日頃から意識しながら、互い「ふれあい、関り合う関係を築いていく事が今後大変重要になっていくものと感じております。

結びに、この年が平穏無事であることを願い、併せて、この年が、健やかで最良の年になりますようお祈り申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

令和二年一月元旦

北海道コカ・コーラ ボトリングより クリスマスプレゼント

12月10日、北海道コカ・コーラボトリング株式会社から町内の福祉施設及び事業所に702本(27ケース)が寄贈されました。

同社では、昭和43年から地域に対する社会貢献の一環として「炭酸飲料」「果汁飲料」「スポーツ飲料」などを道内の福祉施設へ毎年寄贈しています。福祉施設の子ども達や高齢者への一足早いクリスマスプレゼントとして、この取り組みを続けており、52回目を迎えた今年、全道76ヶ所に合計約16万本が寄贈され、寄贈数の累計は、約340万本を突破しました。



プレゼントを寄贈している様子

第14回 赤い羽根共同募金 チャリティーカラオケ

12月8日、ゆめりあホールで第14回赤い羽根共同募金チャリティーカラオケが開催されました。

当日は21組の出演者によるカラオケとオカリナ演奏によるアトラクションが披露されました。観客から歓声が沸いたり、熱い声援が飛ぶ場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。

なお、チャリティーカラオケの収益は必要経費を除き、全て赤い羽根共同募金とさせていただきます。

赤い羽根共同募金チャリティーカラオケ収入

入場券販売 (前売)	183,000円
入場券販売 (当日)	24,600円
会場募金箱	69,087円
合計	276,687円

「大空と大地の中で」

菊水区代表
村上 尚



「恋愛レボリューション21」

陸上自衛隊
滝川駐屯地
第10即応機動連隊
第2普通科中隊



「夫婦春秋」

弥生区代表
伊藤 武



「Goodbye Day」

新十津川町議会
議長 笹木正文



「岸壁の母」

橋本区代表
佐藤 綾子



「宿命」

新十津川
サッカー少年団



「雨に濡れて二人」

中央区代表
大玉弘志
早苗



「終着駅」

みどり区代表
諏方浩美



「プロポーズ」

花月区代表
(明和会職員)
河村、山下、仲村、辻、植木



「男と女の破片」

北海道共同募金会
大作樹立



「アトラクション」

オカリナ工房
「北の銀河」
古館孝広



「海の声」

教育振興会
新十津川小学校
校長 岩城之泰



「さそり座の女」

青葉区代表
(新十津川町議会議員)
村井利行



「パプリカ」

NPO法人新十津川
びあネットワーク
職員、利用者



「夢追い酒」

文京区代表
高橋貞義



「男の勲章」

新十津川町
商工会青年部
部長 大畠光敬



「まつり」

新十津川消防団
第3分団
分団長 高橋了裕



「All My Loving」

外国語指導助手
モリン・ライアン
リュ・デリック



「夜明けのブルース」

新十津川町
民生委員児童委員協議会
千田正志



「生まれてはじめて」

シニアリーダーアザレア
大島ゆず
岡本小桃



「上を向いて歩こう」

新十津川町
女性団体連絡協議会
会長 鈴木喜代子



「前に…」

ピンネカラオケ部会
副会長 齊藤信吾



【グランドフィナーレ】

「ふるさと」
全体斉唱



ご出演ありがとうございました



令和元年度福祉作文コンクール 【金賞】受賞作品紹介

小学生の部 【金賞】

「高齢者の免許返納」

黒澤 和尊さん（6年）



何故この題名にしたかというのと、最近ニュースで高齢者のアクセスとブレーキのふみ間違いや、免許自主返納などが話題になっていることが多いからです。ちなみに、免許返納率のランキングは、一位が東京都で八・二パーセントで最下位の茨城県は三・七パーセントです。その中で北海道は四十位で四・一パーセントで、全国平均の五・二パーセントを下回っています。

では何故、免許返納率が低いのでしょうか。それは、免許を返納した後の生活が心配だからです。アンケートで一番多かった回答は、「体や、判断能力に衰えを感じたら返納すべきだ。」

「事故を起こしてからでは遅い。」

と、いう意見がありました。このような意見が多いにも関わらず北海道

の免許返納率がひくいのは何故でしょうか。やはり、返納後の生活が不安だからでしょう。

なので、免許返納後に、車の代わりになるような物が必要だと思います。家の前まで来てくれるタクシーを有効に使ってもらうための方法を取ってほしいです。

また、〇〇のお店で買い物、または、お食事をしたら〇〇%割引!! などにしたらタクシー使用者が増え、免許返納率が上がると思います。

今、新十津川町の福祉タクシーに乗るためには予約が必要ですが、し、街中を走る普通のタクシーのようにすれば、乗れる人も、増えるのではないのでしょうか。

使いやすい福祉タクシーが町内に広まると、免許返納をする人が増えるだけでなく、既に免許返納をした人も楽になると思います。

高齢者が後の生活の不安もなく、免許返納ができるようになると、高齢者ドライバーによる事故も減り、高齢者ではないドライバーも、安心して、車で道路を走れるようになると思います。

高齢者の家族も、免許返納してくれることで安心して生活させてあげられると思います。

中学生の部 【金賞】

「高齢者との交流」

花輪 紅華さん（1年）



みなさん、こんなことはありませんか。知らない方に声をかけられ、お手伝いをする。

私は、部活帰りにおばあさんに声をかけられ、おつかいをたのまれました。ポストに手紙をとどけてくれたという内容だったのでひきうけました。ひきうけた時おばあさんはとてもうれしそうなお顔になったので私も、「ひきうけてよかった。やりとげよう。」

と思えました。

家に帰って私は思いました。このように、高齢者と学生が、あたりまえのようにふれ合えたらなど。現在の若い人たちは、ネットにとりつかれたように、いつでもどこでも、スマートフォンを片手に歩いています。歩きながらスマホをいじることを、歩きスマホといい、歩きスマホをしてるせいで、障がい者や高齢者とぶつかってしまうケースが多いです。これもネットにとりつかれている証拠です。

今では、前を見ないで、下を向き、

小さな画面をずっと見ながら歩いている人が増えていきます。

私は画面ばかり見てないで、昔みたいに、すれ違う人、会った人に挨拶など、声をかける人が増えたらいいなと思います。

そのために、私はネットを利用している人が大切にしなければいけないのは、

「歩きスマホはひかえる。ネットがすべてじゃない。」

と意識することだと思います。歩きスマホは、自分だけの問題じゃない。いつ人をまきこむかわからない。画面を見る人じゃなくて人の顔をみて挨拶するだけで、どれほどの人が良い気持ちになるのか。

私は、今の世の中、少しのこともめんどくさいと言う世の中だと思います。挨拶をするだけなのにしなかつたり、前を見て歩くだけなのに歩きスマホしたり、高齢者の話を聞くだけなのに、話が長くてやだと言ったり。

私は、このような世の中はいやです。もつと目の前のことに真剣な世の中がいいです。

このことから私は、年齢関係なく、人々の良い関わりが増えたらいいなと思います。

私は、たくさんの世代の人と仲よくしたいです。

あざれあ工房 お礼の会を開催

地域活動支援センター「あざれあ工房」の利用者による「あざれあ工房お礼の会」が、11月7日、ゆめりあ多目的ホールで開催されました。



みなさんいつもありがとうございます。劇は楽しんでもらえましたか？

日頃からお世話になって
いるボランティア
のみなさん、福祉
関係団体
のみなさん
をお招きして、利用者による劇の披露や、参加者全員でのゲームなど楽しいひと時を過ごしました。

あけましておめでとうございます。



社協ホームページは右のQRコードからいつでも閲覧することができます。



ふれあいキッチンのご利用案内

ふれあい横丁（中央7-11）に常設している調理室『ふれあいキッチン』は、一般町民のみなさんも利用することができます。（火曜日、木曜日を除く。）
ふれあいキッチンとご一緒にサロンスペースもご利用ください。



キッチン
利用料
1回500円



お友達グループでのお食事会に！



イベントなどの調理場に！



料理教室に！！

利用する際は、新十津川ぴあネットワーク☎74-6502までお電話ください。（ふれあい横丁は新十津川町社会福祉協議会☎76-2600でもお電話を承っております。）

「社協宣言募金」結果報告！

平山主事 帰宅したら玄関できちんと靴を揃えます！60日続けられたら500円……見事達成！500円募金
松尾さん 健康のため1日30回スクワットをします！1ヶ月続けられたら500円！…見事達成！500円募金
中村さん 健康のため毎日トマトを食べます！1ヶ月続けられたら500円……見事達成！500円募金
永峰さん エコと健康のため徒歩通勤します！1ヶ月続けられたら500円！……見事達成！500円募金
※合計2,000円については窓口募金いたしました。

社協雑記

みなさん明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。
今年は東京オリンピック・パラリンピックいわゆる東京2020が開催されますが、今年に限り、祝日が移動するそうです。「海の日」が通常の7月第3月曜日から開会式前日の7月23日木曜日に移動、「体育の日」が通常の10月の第2月曜日から開会式当日の7月24日に移動するそうです。土日と合わせると4連休となりますが、テレビから目が離せない連休となりそうです。みんな、日本に熱い声援を送りましょう。
N.A

ご厚情感謝申し上げます

- 社会福祉協議会へ
- ◆ 原田 弘さん(文京) 3万円
- ◆ 故壽満子様生前のお礼
- ◆ 立石光国さん(中央) 3万円
- ◆ 故野々宮入ズ子様生前のお礼
- ◆ 坂林涼一さん(弥生) 3万円
- ◆ 故アサコ様生前のお礼
- ◆ 宮本さよ子さん(大和) 3万円
- ◆ 故孝雄様生前のお礼
- ◆ 熊田伸一さん(札幌市) 5万円
- ◆ 故清松様生前のお礼
- ◆ 小坂久美子さん(青葉) 3万円
- ◆ 故義明様生前のお礼
- ◆ 今野 清さん(中央) 3万円
- ◆ 故慶子様生前のお礼
- ◆ 奥田英敏さん(花月) 3万円
- ◆ 故英進様生前のお礼